

堀ノ内病院

医療安全通信 No.2



【2点認証で患者誤認を防止します】

～患者誤認を防止するための対策～

① まずはフルネームで確認

患者誤認のほとんどは、正しいとの思い込みで確認工程を省略したことによるものです。

フルネームの照合だけでも大部分の患者誤認を防止できます。

② 生年月日での確認

同姓同名や類似名も誤認につながります。

※上記確認ができない場合、付き添われた方に協力をお願いします。

【鎮静剤を使用して内視鏡検査をされる方へ】

**ご自身の運転で車・バイク・自転車で来院した場合、
鎮静剤を使用しての検査ができません。**



- ・ 患者さん自身と周囲の安全を守るための重要な措置です。
- ・ 鎮静剤の影響下では、判断力や反応速度が低下し、安全に運転できなくなるおそれがあります。
- ・ 運転禁止の指示は、医師法や民法上の注意義務に基づいています。
医師は、医療行為によって患者さんに危害が生じる危険性がある場合、その危険性を回避するために必要な措置を講じる義務があります。
道路交通法においても、酒酔い運転と同様に、薬物の影響下で正常な運転ができない状態で運転することは禁止されています。
- ・ 鎮静剤を使用した状態で運転し、事故を起こした場合、法律上の責任を問われるケースもあります。